

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

社 会 教 育

A. 進捗中又は完成された主要行事

○ 進捗中のもの

① 青少年指導者講習会

① 日 場所 3月26-27日(武智郡尾山村) 60名 4月8-9日(温泉郡) 100名 4月18-19日(長野郡大洲町) 30名
② 日 場所 4月15-17日(東予地区周知郡川根町) 70名

③ 場 所 ● 県下新しい青年団の在り方につき関心が深くなって来た。

● 講習期間が短い為十分の成果は得られなかったが、共通的な問題としてあげられるワーク、ワーク、ジョブ等についてはその必要性を次期に認識して来た。

② 台所改善講習会

① 期日、場所 3月28日(木山市)
② 参加者 婦人団体会員 150名

B. 新しい案出された指導技術

特記すべき事項なし

C. 社会教育委員会の業績

3月24日県社会教育委員会会次総会、部門別協議会を持つことになり ① 公民館 ② 青少年教育 ③ 婦人 ④ 社会教育振興の四部門として研究することになった。

① 概況事項

① 社会教育委員会の運営、② 知らない事を予算及行事計画、③ 社会教育振興についての意見交換。

公民館

- 1. 館数
 - (1) 月間の増加数 15館
 - (2) 現在の総数 154館

2. 主要な教育活動状況
特記事項なし

3. 特定の館の教育活動の実例
特記事項なし

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

27

その他の主要な社会教育行事

特記すべき討論グループ、討論会、聴視覚教育、時事問題研究会等
を含むこと

該当事項なし

Ehime Monthly Report
(21 Feb - 20 Mar 1950)

教育活動月報

愛媛縣教育委員会

この報告書に含まれた後、教育長は月間各種報告及びその他の教育関係報告を達成された業績につき、数行の評語を附記すること

1. 昭和25年度予算については三月縣議會に於て要求額の承認を経たので大体の見通しが出来た。
2. 現職教育については昭和25年度現職教育計画委員会を開催しその方針並に計画も決定した。
3. 教員の定員定額については25年度教育にも相当影響があるので再三文部省に増加方を陳情、本縣の実情もおいむね了解された。
4. 六三制建築費國庫補助割当については昭和24年度割当(総額15億)の配分があまりにも少額で本縣の実情にあつていないので、その資料と共に増額方(昭和25年度45億分)を縣下市町村と共に現在中央に要望している。

Rec'd 30 Mar 1950

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

教 育 委 員 會

A. 會合の回数及び月日

- a. 定例 1回 2月20日、21日
- b. 特別 なし

B. 主要議題

- 1. 愛媛縣フィルムライブラリーフィルム使用料徴収條例中一部改正について
- 2. 縣立高等学校通学已の変更について
- 3. 教育職員免許法並に免許法施行法の施行細則(愛媛縣規則)決定について
- 4. 縣立学校における授業料その他の費用の徴収條例の一部改正について
- 5. 愛媛縣立教員保養所使用料條例の一部改正について

C. 主要決議事項

- 1. 同上
- 2. 縣立松山南高等学校伊豫分校について
縣立松山南高等学校普通科生徒定員中伊豫分校に入学せしむべき第一学年生徒を施設の都合で暫定的に本校へ收容することとした。

D. 委員の出席した会合(日時場所目的日程評価)

- 1. 委員連絡會 2月25日 教育委員室 昭和25年度予算について縣側に折衝
- 2. 縣議會 3月3日 ~ 3月12日 縣會議事堂
- 3. 愛媛大学 3月18日 天皇奉迎

事務局

A. 機構又は職員の変更

なし

教 育 長

A. 現在目標とするもの及びその達成の程度

- 1. 昭和25年度予算については三月縣議會提出まで相当に慎重審議をかさね、要求を行つたのであるがこれが達成の程度からについては、ある種の予算について事業等の関係上追加予算に延期されたか、おおむね初期の目的を達成した。

B. 主要な活動

- 1. 小、中学校の教員の定員定額並みの六三制建築費國庫補助割当について3月2日、3日と文部省に陳情を行つた。
- 2. 私立山下高等学校縣立移管問題について現地視察並にその情調査を3月14日、15日と行つた。

C. 出席した会合(日時場所目的日程出席者及び数評価)

- 1. 昭和25年2月20、21日 縣會議事堂 2月定例委員会
- 2. 昭和25年2月25日 教育委員室 委員連絡会
- 3. 昭和25年3月3日~3月12日 縣會議事堂 愛媛縣議會
- 4. 昭和25年3月18日 愛媛大学 天皇奉迎

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

学 校 管 理

A. 教育財政

教育費 總予算 (昭和25年度) 1,171,236,794 円
 (外 27,987,760 円)

内訳	1. 教育委員会費 — 20,076,825	10. 教員俸給費 — 4,095,487
	2. 小学校費 — 506,235,610	11. 教員研究所費 — 1,352,578
	3. 中学校費 — 337,893,322	12. 教育研究奨励費 — 592,113
	4. 高等学校費 — 157,494,642	13. 体力向上施設費 — 4,721,310
	5. 定時制高等学校費 — 50,302,103	14. 社会教育費 — 5,724,963
	6. 盲聾学校費 — 8,825,618	15. 奨給費 — 40,079,890
	7. 専向学校費 — (442,583)	16. 教育雑費 — 28,887,830
	8. 農科大学費 — (24,745,177) 77	(内 2,800,000 円)
	9. 図書館費 — 2,564,503	

注. 赤字は教育委員会内訳の教育予算ではない。知事管轄下の予算である。

B. 提出又は承認された予算

昭和25年3月縣会で承認された昭和24年度追加予算

追加總額 13,155,860 円

内訳	教育委員会費	188,000 円
	盲聾学校費	264,854 円
	教育研究諸費	42,000 円
	体力向上施設費	191,291 円
	教育諸費	343,000 円
	教職員特別措置費	12,226,715 円

指(補) 真 主 事

1. 主要な活動

(1) 訪問した学校数 計 19校
 (2) 出席した会議数 計 43回

2. 次の各分野での目立った貢献

(1) 理科 なし
 (2) 国語

県下約600の教員より成っている愛媛県国語研究会では本年度会誌2回、単行本1種発行し、又中央より権威ある講師を二回招いて県下6ヶ所で講演会を開催し又總會を2回開いて、教育発表を行った。
 なお来年度早々会誌第3号を発行し、又広島大学教授藤原幸一氏を招き、県下数ヶ所で講演会並みにWork. Shopを開く予定である。

(3) 英語

なし

(4) 社会科

1. 社会調査 児童調査は調査のための調査である子供に教育に直結した必要感よりすべきであること。
2. 構成活動 → 目標を常に念頭におくこと(教師としては)
 劇的活動 → 利用は最高度にする。
3. 青少年の見学資料の利用 --- 目標をはつきりし、量と質について教師の指導が必要。
4. 訓育は大切だがおこなった訓育は駄目、子供の自意的、自律的訓育となるように指導すること。

(5) 職業科

1. 2月20~23日 文部省主催中学校職業家庭科研究協キ会(宮崎市香川縣)へ都市代表教員を派遣受講し、3月6日松山市にて受講者の研究会をもつ次で受講者を講師として目下各都市にて関連講習会を開催中、既に石講習会終了の都市は長門郡、北宇和郡、周桑郡、西宇和郡等。
2. 学校植林関係 表賞授 温泉郡梓志中学校
 2月山口縣にて学校植林研究協キ会にて学校植林推進方策決定、本縣は3月10日より1ヶ月間国土緑化運動集中期間として「緑の羽」募集を開始す、中学校生徒による街頭募金をして植林の基金を集めている。

(6) 体育保健

- 1. 単に教技を配当するだけでなくその教技の要素表をつくっておくこと
- 2. 学習経験などの程度発展しつゝよきかを知る為の能率的な評価について考へなければならぬ。更にこの一助として評価を記入する補助簿をつくっておくことが大切。
- 3. 研究会には教師の積極的な討議がみられて然るべきだ。
- 4. 研究会は明日の授業に後立つ切実な問題をとりあげてほしい。

(7) 生徒活動

なし

(8) 学校経営

なし

(9) 生徒指導

- 1. 映画特に幼燈画の自作、自映による学習素技の洗練と能率化に役立っている。
- 2. 放送聴取による言語音楽等の映画上映の上に役立っている(伴奏、説明等)
- 3. 生徒の自治活動か……録音によつて再生されることにより各自反省され今後の学習活動の上で役立っていること(丸亀市、城北小学校)

3. 特筆すべき教育活動を参観した事項

- 1. 北郷中学で國語のすくぬた單元学習をみた「文集」という單元名のもとで、よむ、かく、きく、の言語活動が有機的に、しかも自発的になされておりその一面 drill の面を重視していたので学力が相当ついていた事が注目された。
- 2. 健康教育と体育が車の両輪の如く調和した教育活動、更に養護教員が学校経営、実地授業に参加している教育活動。
- 3. 新居郡角野中学校で熱心に事例研究のなされている事を研究発表によつて知った。
- 4. 自校に於ける生徒並に一般父兄の教育活動を幼燈画に字し授業時間に生徒連によつて映字父兄を招待して学校の運営状況を生徒の中によつて父兄連に理解を深めさせ自らの足跡を反省していった。(温泉郡栗井小学校)

教員現職教育

A. 教育を主題とした学校その職員会議

B. 教員の教育団体（労組的でないもの）の業績

C. 現職教育に関して開かれた会合（日時場所出席者及び数
目的日程評価）

D. その他の現職教育活動

昭和25年度現職教育計画委員会を開き方針その他を決定した。その経費についてはその大要を縣議会文教委員会及び縣教育委員会に説明。これについては追加予算として上程するため予めその諒解を得た。

大学側における講師人選についてもその協力を得て着々進行中である。

E. 関係諸機関諸団体との協力

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

実験学校

A. 実験学校に対する指導係の活動

宇摩郡清寧中学校 体育研究会

- 指導事項
- ① 保健体育課に於る健康教育の単元のとり方と時間数の問題……健康教育ノ明内 } 体育 3時間 } と3のが望ましい
 - ② 養護教員の教育活動について……看護婦の任務から脱皮して学校経営に多参加せしめなければならない。
 - ③ 体育活動の指導法について……指導段階の設定必要
 - ④ 評価方法について……評価の仕方補助簿作成。その活用が大切である。
 - ⑤ 研究会の性格について……明日の授業業に直接必要の問題をもつてきまらう少し意見交換が重要。
 - ⑥ 給食指導について……設備、P.T.A.の協力、給食意義とその献立の科学的検討。

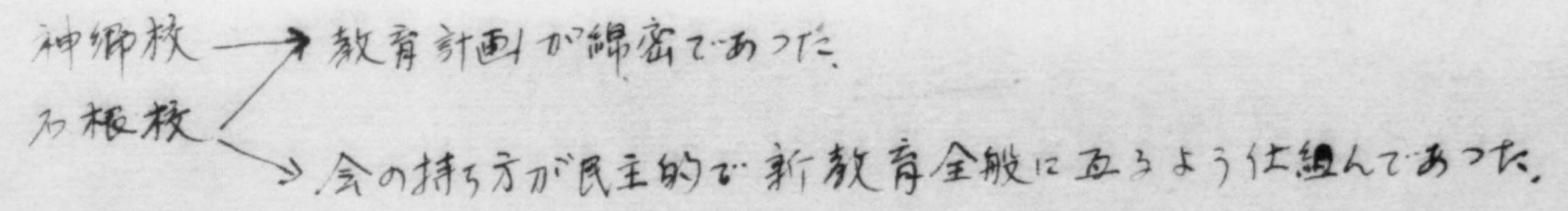
新居郡神郷村小学校 (3月2日)

1. 社会科を始め全教育計画のために社会調査、児童調査が行われているが之は調査のための調査でなく、必要に迫られる調査である。資料の処理を忘れてはゆかぬ。
2. 社会機能法、問題領域法というルー方法で、未だ科学的、客観的根拠なし。
3. 形式的な校訓では新教育は出来ぬ。然し録の真は大切である。

周桑郡石根小学校 (3月11日)

1. 新教育への父兄の協力は社会教育を徹底させること—父兄との接觸を多くせよ。
2. 外部からおしつけた訓育ではなく内から盛り上げる訓育であれ。(自律的訓育)
3. 学力とは理解 態度 技能等子供の学習活動の結果身につく力すべてが学力である。

B. 実験学校に関して開かれた会合とその評価



775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

生徒団体

A. 生徒協議会 (特記すべき学校の状況)

なし

B. 生徒クラブ (特記すべき学校の状況)

宇摩郡清寧中学校は保健体育の実験学校であるが、野球、庭球、卓球、サッカー、排球、ダンス等の体育クラブの外、給食の科学的調査、検校等のクラブ活動も全教員が分担して熱心に指導していた。

学 校 再 編 成

A. 学校統合その後の進捗(小中高とも)

1. 小中学校は該当事項なし
2. 高校再編成に伴う施設工事については縣営繕課と緊密な連絡をとり鋭意その進捗に努力しているが便所については既に完成のものも校工事中のものも9校他は目下設計中であるが3月末までには29校全部完成の見込である。なお緊急施設の普通教室16校裁縫室10、割室9については2月15日に設計を完了し目下着工されているがこれは何れも新学年迄に完成する見通をもっている。

B. 通学区決定の進捗及び隘路:

1. 通学区の変更について2月21日2月定例委員会において宇摩郡別子山村、富郷村、金砂村、新居郡用野町、並ぶに北宇和郡高老村の通学区をそれぞれ一部変更した。

C. 再編成に関して開かれた会合(日時場所目的出席者及び数
日程評価)

3月2日教育委員控室において学校再編成に伴う学校備品の配分ならびに整備について打合會を開催し各学校長の意見を聴取の上これら配分方法も決定した。

教員養成機関 昭和25年3月分

A. 教育の向上に役立つ教員学生の貢献

愛媛大学教育学部
愛媛大学愛媛師範学校
愛媛大学愛媛静師範学校

- 1. 2月22日 本年卒業する本科3年生全員に対す井上学部長兼愛媛師範青年師範校長の訓話。
- 2. 2月23日 教職課程研究会、教育学研究会開催
- 3. 2月24日 学科課程研究会開催
- 4. 2月25日 教職課程研究会開催
- 5. 2月28日 国語科学科課程研究会、小中学校教員現職教育打合せ会開催
- 6. 3月16日 学科課程について学科主任と文部省村上視学官との懇談会開催

日之等機関に關する主要な問題

特記事項はありません。

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

高等教育機関 (大学、高専)



A. 主要な問題

特記事項なし。

B. 特記すべき活動又は貢献

- (1) 藤本学長大学行政官協議会のため3月5日より同12日まで会場九州大学に出張した。
- (2) 天皇陛下回國巡幸の際教育状況御視察のため3月18日本学にか赴きになり、藤本学長より本学および県内新制大学の実状の概要を御説明申し上げた。

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

13

私 立 学 校

A. 縣知事又はその代理者による指導監督の状況

なし

B. 主要な問題

なし

定 時 制 学 校

A. 校数職員数生徒数の変更

B. 主要な問題

- ① 四玉四縣定時制教育研究會が杏川縣に開催、本縣より定時制の學校長及び主事計21名参加、本教育上の諸問題につき四縣主幹部の研究協議を行った。
- ② 定時制教員定数が決定した。専任325名(併設校一學校1名 獨立校2名を兼任345名(并412万円)が予算化している。これは前年より3割方の増員である。
- ③ 教員申請 3分校 4課程 3月22日委員会で決定のほつ。

C. 特記すべき活動を行っている学校の状況

特 別 行 事

前述の各項目に含まれていない学校教育関係の活動行事を簡
単に要約評価された。之には例えば学校経営ガイダンス、職
業教育、聴視覚教育、カリキュラム研究、教育調査などを含む。

(教育職員の選賞)

県教育委員会に任命している教育職員22名(内高等学校3名 聾学校1名
小学校2名 中学校6名)を県教育委員会選賞規程により選賞することに
決定した。

(小学校教育研究集会)

3月15日、文部省主催の小学校教育研究集会協議会(高知市)に参加した。

3月16日、17日

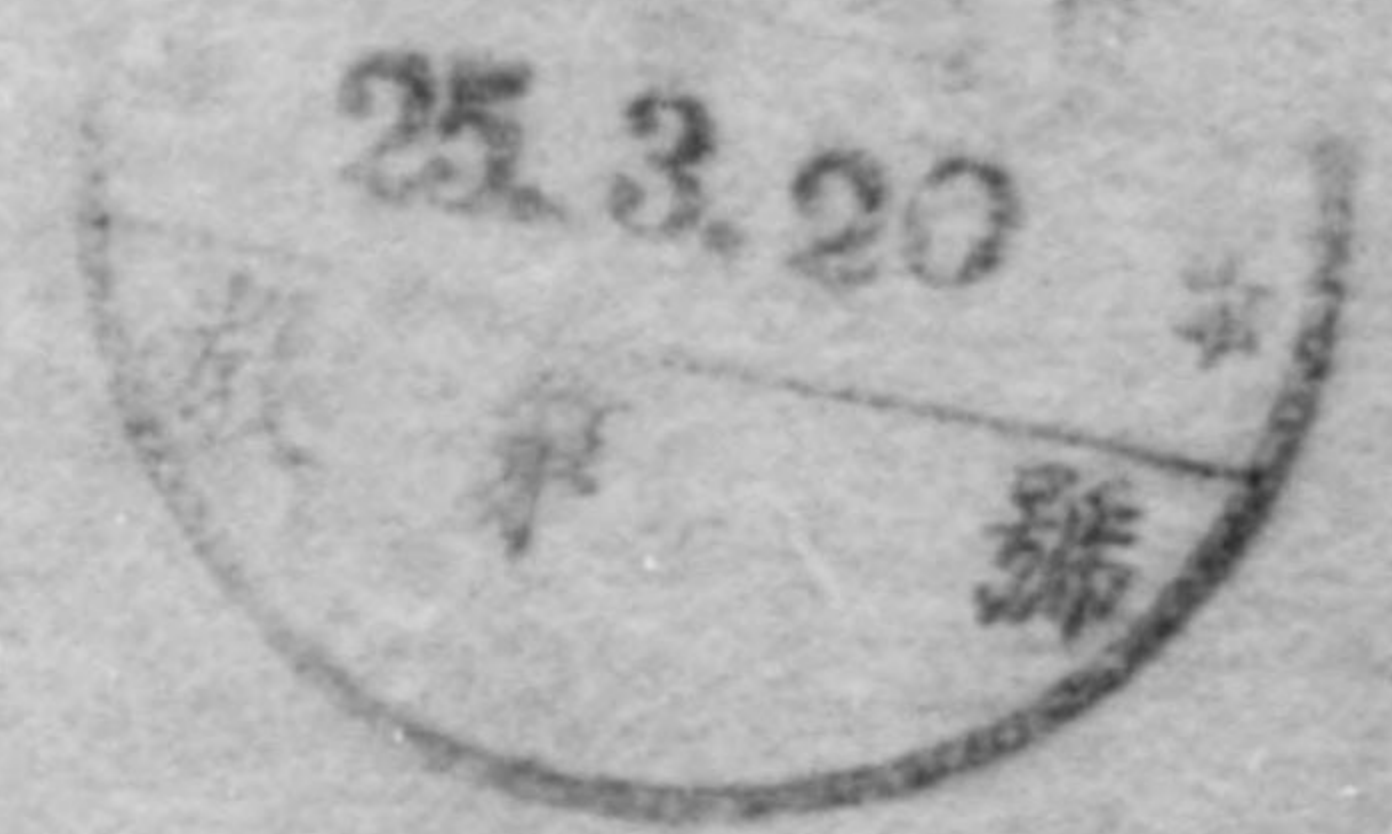
体育行政事務打合せ(名古屋)に参加した。

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

特 別 行 事

前記の各項目に含まれていない学校の教育関係の活動行事を簡
単に要約評価された。之には例えば学校経営ガイダンス、
職業教育、聴視覚教育、カリキュラム研究、教育調査などを
含む。



教育研究所

- 1. 各教科能力表完成 2月28日
- 2. 岐阜教育研究所研究発表会、所員参加 2.20-2.24日
- 3. 垣生中学(空戦学校)研究発表会 3月3日
- 4. 四国四縣教育研究所連絡視察会—徳島—3月10日—3月11日 小川所長 中田所員参加
- 5. 研究委員会—能力表の検討—3月15日—研究委員会出席
- 6. 生物標本標本を天覧に供するに当り鮮魚標本の陳列 3月16日
鳥類40種 植物60種 動物5種、4キリマン、コアラマイハシ
- 7. 教育研究所紀要第二集 原稿脱稿し印刷契約を結ぶ 3月18日

昭和25年3月20日提出 愛媛県教育研究所



(昭和24.12.23付 教務第515号、民事部提出の定期報告)

学校給食

1. 給食物資の保管状況

脱脂粉乳

保管場所	2月21日現在	月間入荷量	事故数量	月間放出量	3月20日現在	備 考
松山市三津 全戸農業協同組合 倉 庫	200 LBS	0	0	0	200 LBS	200 LBS 腐敗品

2. 給食状況

政府配給物資による給食状況

既配給のミルクにB?Cの缶詰を併用。C缶は主に味噌汁に混入して効果をあげている。

政府配給物資以外の給食状況

児童持参又はP.T.A.寄贈による野菜、小麦粉、その他の物資を補助食として給食している。

社 会 教 育

A. 進捗中又は完成された主要行事

- 進捗中のもの
- 1. 台所改善講習会
 - 日時・場所 三月八日 同楽郡小松町 三月十一日 幡豆市 三月十八日 松山市(平島)
 - 目的 生活改善の一環として台所改善にスリの指導者の養成を図る
 - 参加者 婦人団体員並びに一般婦人 小松町約500名 八幡豆市約300名

⑤

- 完成されたもの
- 1. 青少年指導者講習会
 - 日時・場所 二月十九、二十、二十一、二十二日 松山市
 - 目的 文部省主催青少年指導者講習会受講者の伝達を中心として指導技術を主として指導者養成を図る
 - 参加者 青少年教育に従事している指導者で各郡市三名宛 約80名

B. 新しく案出された指導技術

該当事項なし

C. 社会教育委員会の業績

市町村社会教育委員の活動に対し倍蒙中

その他の主要な社会教育行事

特記すべき討論グループ討論会、聴視覚教育、時事問題研究会等
を含むこと

該當事項なし

775013

公民館

1. 館数

- (1) 月間の増加数 なし
(2) 現在の総数 129館

2. 主要な教育活動状況
該当事項なし3. 特定の館の教育活動の实例
越智郡万石村公民館

青年団員を中心とし一般希望者も含めた対象で村内各種団体
に講師を得て農業講座を開設してゐる

Received 29 Dec. 1949

教育活動月報

愛媛縣教育委員会

この報告書に含まれている各種報告及びその他の教育関係報告を熟讀し、理解した後に、教育長は月間にあらわれた顯著な傾向、或は達成された業績につき、数行の評価を附記すること

1. 高等学校再編成に伴い、旧縣立高等学校資産処理委員会を設置し、再編成に於て廃校となる学校資産については速かに処理し、その費拂代金の収入を以て存置学校施設の改善充實をはかると共に、又学校物品は出来るだけ学校差を際したため、各地区内において適正な配分を行い、物品の均等化を目途として円滑なる処理運営をしようとする。
2. 教育委員会の旧機構は一室二部六課であったのであるが、12月1日から新機構改正で次長五課制を実施して強力且つ円滑なる運営をしようとするが、方舎が大変狭隘なるため事務処理上非常に困難をきはめてゐる。

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

教 育 委 員 會

A. 會合の回数及び月日

a. 定例

b. 特別委員會二回 11月20日
12月14日

B. 主要議題

- 1. 高等学校再編成に伴う予算措置について
- 2. 昭和25年度全日制高等学校入学者決定方策について

C. 主要決議事項

- 1. 縣立高等学校建築設備費 3,614,500円を予算計上することに決定
- 2. 昭和25年度全日制高等学校入学者決定方策について次の根本方針を決定
 - (1) 中学校に於ける進学指導の徹底に努め入学志望者としてその適性に應じて進学させるよう万全の措置を講ずる
 - (2) 高等学校に於ける校舎施設の能率的使用により入学志望者をなるべく多数收容することを旨とする
 - (3) 入学志望者の選考は出身学校より送付した生徒指導要録の字及び身体検査票のみを以て行い高等学校では選抜のためのいかなる検査をも行わない

D. 委員の出席した会合(日時場所目的日程評価)

- 1. 委員連絡会を11月28日、29日、30日、12月1日、2日、5日、6日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、19日の14回にわたり教育委員室で会合その内容は、
 - (1) 人事発令について
 - (2) 教員年末給與の支給について

教 育 長

A. 現在目標とあるもの及びその達成の程度

1. 旧縣立高等学校資産処理並びに再編成後に於ける舊学校施設の改善充実に於いて

B. 主要な活動

- ・旧縣立高等学校資産処理委員会を設置する廃校となった学校資産に於いて地元市町長を招集して懇談折衝

／高等学校再編成に伴い旧縣立高等学校資産処理委員会を設置して本一回の打合せを行いこれが学校資産処理方針について審議した。

又、12月1日教育委員会事務局の機構改正を実施した。

C. 出席した会合(日時、場所、目的、日程、出席者及び数、評価)

1. 12月7日 全口教育委員会教育長^協議会 於 東京都
- 又、12月8日 全口六三制整備費割当会議 於 東京都

事務局

A. 機構又は職員の変更
なし

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

2

学 校 管 理

A. 教育財政

なし

B. 提出又は承認され^{追加}た予算

なし

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

事 主 導 (補) 指 相

A. 主要な活動 (学校訪問、職員会議、教科別研究会、研究授業への出席)

大分市に於ける精神遅滞児教育研究会、四子現職教育研究協議会、四子指導者連絡協議会、四子数学教育研究会に参加し、序摩郡及び新居郡の教務主任 work shop。伊豫、北條、大洲、立花、丹原、三島、香川西の各小学校、宮繩、久万、垣生、新谷の各中学校、宇和、長浜の各高等学校の研究集会に参加し指導した、又各郡市毎に数学の work shop を催し之を指導した。

B. 教育水準の向上、教授の改善に対し、特に貢献した事績

県下40名の各補導室を対象として三地区に分れ work shop 的集会をもち教授法の改善等についても研究した。

各郡市毎の数学教育 work shop を各教員のもつ問題を解決するのに効果的であった。

C. 特に推賞すべき教授を参観した事実

小学校において文法教授に成功している者を見出し (12月8日久利小学校) この種の授業は従来比較的軽く扱われていた。

D. 出席した会合 (日時、場所、出席者及び数目的、日程評価)

極めて多数が一々挙げられぬが一例として
松山市内各高等学校 国語研究会 (12月9日) 国語科教官20名
比較的保守的であった教員が多くの啓蒙的な意味において
大変有効であった。

教員現職教育

A. 教育を主題とした学校での職員会議

県教委宛に報告されたものによると小中学校は少くとも月二回程度の教育を主題とした校内研究職員会を行っていることになっている。
なほ今後とも集會の機会を捉えて校内研究職員会を奨励し度い。

B. 教員の教育団体（労組的でないもの）の業績

12.7.8
12.11.30
150

~~12月~~ 12月7、8の両日に互に松山市で小中教員約300名 高校者及140名
参集して算数数学の單元学習、高校の数学指導につき研究協議会を開催
した。（愛媛数学研究会主催）

C. 現職教育に関して開かれた会合（日時場所出席者及び数 目的目標評価）

1. 県下小中学36校の実験学校の殆んど全部が1日又は2日間に互つての公開（郡内、小中学校別
教員全部集合）実施指導及び研究発表を行った
2. 免許法に基づき単位も與へる現職教育について明年実施のため計画準備委員会を開き基本方針
につき討議した
3. カリキュラムと放送教育研究協議会（^{5.7.27}）及び月2日、3日と宇摩郡三島町松柏小學校で四県四縣
の教員350名を集め研究発表、研究発表、講演等を行った。

D. その他の現職教育活動

1. 県教委が主催して県下の12郡の各々にゆたり、算数教育の諸問題についての研究協議会および徳島香川
でのワークショップの傳達を行った。
2. 大島大学長田学長、同戸田教授その他奈良女高師教授等を招き地区的な研究行事があつた。

E. 関係諸機関諸団体との協力

愛媛縣教育研究所長及び所員、愛媛大学教授等も上記の現職教育の指導者として協力した。

実験学校

A. 実験学校に対する指導係の活動

- ① 各中、小の実験学校研究会に指導主事が出席し具体的な項目について指導している
 - a. その地域の子供の演態に即し教育を生活化する
 - (1) 教授の際に土地にある具体物を出発点として利用すること
 - (2) これも利用するが、指導上如何に工夫がよいか
 - (3) 社会科における制作活動と国工科との関係について
 - b. 学習活動の展開の研究
 - (1) Group学習について --- 編成に工夫をこらし固定セットに融通のきくものとする
編成上 --- 能力別がよきとき → 演算等の技能をねらう
各種能力混合のとき → 社会科の時
 - (2) 学習目標を考へること
どの教材は在生徒に直接経験させ どの教材はGroup学習のついでが
と教師はあつた分の研究すること
- c. 教室の環境設定は統一が利子協の気持ちを学習の誘導するよ海仕組みすること
- d. 指導計画中に洋画の計画を含んがこと

B. 実験学校に関して開かれた会合とその評価

- | | |
|---|----------------------------|
| 11月 19, 20 ^日 宇摩郡三島小学校 → よろしい | 12月 3, 4 森野新野谷中学校 --- よろしい |
| " 21, 22 上野水郡西巻川小学校 --- よろしい | " 9, 10 今治市立花小学校 --- よろしい |
| " 22, 23 " 又方中学校 --- よろしい | " 10 温泉郡高根中学校 --- よろしい |
| | " 14, 15 伊予郡伊太小学校 --- よろしい |
| | 温泉郡北條小学校 --- よろしい |

生徒団体

A. 生徒協議会 (特記すべき学校の状況)

生徒指導に関する研究会が催されるようになったのはこの傾向と考へる。最近催された生徒協議会の研究会は次の通りである。

(1) 喜多郡新岩中学校

12月4日 特別教育活動に関する研究会が行われ、ホームルーム、クラブ、生徒協議会の研究があった。

当日の生徒協議会では P.T.A から寄贈された図書の見学規定を協議して、概ね「生徒団体の会の進め方」の要領に基づいた。

(2) 越智郡壺口中学校

12月6日 同校において生徒自治の研究会が行われ、内容は宮松市に於ける Workshop の研究成果をもとに同校の生徒協議会及び nearby 中学校生徒の参加による生徒連絡協議会が行われ効果的であった。

B. 生徒クラブ (特記すべき学校の状況)

前記新岩中学校の研究会の際、生徒が (a) 貯金について、(b) 農材料整理について、(c) 新岩村の岩石・土質について及び (d) 演劇の発表をしたことが挙げられる。これらのクラブを通じて研究された結果であった。このような研究及び屡々生徒集会の際行ふようすである。

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

学 校 再 編 成

A. 学校統合その後の進捗(小中高とも)

該當事項なし

B. 通学区決定の進捗及び隘路

該當事項なし

C. 再編成に関して開かれた会合(日時場所目的出席者及び数
日程評価)

- 12月2日 副知事室においてキ一回臨時資産処理委員会を開催し廃校予定の(元三島=高元新居浜高元西條=高元大洲=高元幡旗=高元鶴島高校)関係市町村決出頭のため各取下価格の内示し何分の回答を要求す
- 12月16日 議事堂議員控室においてキ三回学校資産処理委員会を開催しさきに内示した取下価格について関係当局より回答に届かないため委員が東南=班に分れ督促懇談の意味で出張し可及的速かに処理する方針を打合せ

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

教 員 養 成 機 関

A. 教育の向上に役立つ教員、学生の貢献

1. 教育学部学生自治会大会
2. 学生の思想に関する録音放送
3. 教育課程作製につき講座別会議
4. 現職教育につき県教育委員会との打合
5. 補導教官会議
6. 教官学生協議会
7. 愛媛県初等教育研究会(附属小学校)
8. 愛媛県中等教育研究会(附属中学校)
- 9.

B. 之等機関に關する主要な問題

1. 学生新聞や1号発刊 全学聯出席者状況報告、全学聯加盟決議等
2. 思想と行動とは區別すべきとの論議 多数を占めた
3. 再内教養開始に対する準備
4. 25年度の本県現職教員計画
5. 学生の思想、風紀等
6. 学生側の希望事項 (1) 図書館の新設 (2) 厚生施設等
7. Aの7,8を通じ教育課程、学校運営及こカウダンスにつき研究協議

高等教育機関 (大学、高専) 愛媛



A. 主要な問題

新制大学の内容充実に努む

B. 特記すべき活動又は貢献

(1) 文部省より管理局施設部建築課長来学

本大学の教室、研究室等の新築、修理につき協議して将来の計画を定めた。

(2) 文部省より会計監査のため担当官来学、本大学の経理が大体において良好に整理されていることを認められた。

(3) 本大学教官の学術研究を促進する方法につき学内に委員会を組織して協議し、研究業績を發表することに決議した。

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

13

私 立 学 校

A. 縣知事又はその代理者による指導監督の状況
該当事項なし

B. 主要な問題
該当事項なし

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

定 時 制 学 校

A. 校数職員数生徒数の変更

1. 校数職員数変更なし

2. 11月末現在生徒数減
男 57人 計 139人
女 82人

3. 11月末現在生徒
男 6,504人
女 1,782人 計 8,286人

B. 主要な問題

- 12月12日松山南高校にて定時制運営協議会(第1回)が縣教委の主催で行われ、兵庫縣及び香川縣に於けるwork shopの傳達報告を中心として今後本縣において定時制を振興するための研究協議がなされた。席上愛媛縣定時制振興会設立準備委員会が発足し各委員が郡市別より一名宛選出された。
- 小松高校及西條北高校の定時制家庭科が全日制へ切替を要望し目下調査中である。

C. 特記すべき活動を行っている学校の状況

なし

特 別 行 事

前述の各項目に含まれていない学技教育関係の活動行事を簡単に要約評価されたい。之には例をば学校経営ガイダンス、職業教育、聴視覚教育、カリキュラム研究、教育調査などを含む。

- 1 県下各実験学校が今秋その研究を発表したがカリキュラムガイダンスにつき見べきものがあった。カリキュラム研究も今年相当まとまった発表をみるに至ったが、また評価についての研究が見るべきものが少い
- 2 県下各中学校に対して進学調査をした。その結果職業コースの進学者が定員の1/3位しかない。その為今後各郡市に亘って大々的に進学指導連絡協議会を来年一月に行ふことになっている
- 3 研究記要の出版 11月24日
 - 内容 A 新入児童の能力調査
 - B アメリカに於る複式学校の教育
 - C カリフォルニア公立学校教育のための枠組
 - 順次小・中及関係方面へ贈呈
- 4 社会、数学、国語、理科、学カテスト内題の作成 — 11月末完成
- 5 数学、国語、理科、学カテスト実施 12月10日 — 12月18日
 - 県下各郡市小中学校 24校 — (小13中11)
- 6 評議会会開催 11月16日
 - 研究所運営に关する所長の諮問及その討議
- 7 24/12/1 進学希望者数調 (全日制高等一

科 目	定 員	希 望 者
普通科	5,850	6,054
商業	900	747
工業	600	651
農業	1,200	519
水産	50	25
計	8,600	7,996

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

A. 進捗中又は完成された主要行事

○進捗中のものなし

○完成されたもの

1. P.T.A. 婦人団体研究協議会

○日時 十二月三日、五日、十六日

○場所 新居浜市(三日)、宇治郡三島町(五日)、温泉郡小野村(十六日)

○目的 民主団体運営の技術(委員会の手続き)についての修得

2. 視察遠征教育研究会

○日時 十二月六日

○場所 上野六郡田原村

○参加者 百二十名

○目的 ラジオ・録音機を使用した研究、教授及模範

3. 県教団代表者連絡協議会

○日時場所 松山市(中予地区)十二月十一日 西條市(東予地区)十二月十五日 宇和島市(南予地区)十二月十八日

○参加者 四十九名

○目的 主として県教事務の連絡

B. 新しく案出された指導技術

該當事項なし

C. 社会教育委員会の業績

○野社会教育委員会は定員二十名を十一月十八日に任命した十二月十日の一回の会談を準備して社会教育委員のあり方

、今後の社会教育振興策について協議し、その業績については今後には期待している。

○市町村社会教育委員

昭和十一年に設置されたものの総数約二千名、其の後昭和十四年社会教育法に基づいて設置され其の總数約二千三百名(未報告町村あり)で其の活動は不活潑であるが公民館設置或は青年の不良化防止には積極的の努力している。

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

17

その他の主要な社会教育行事

特記すべき討論グループ、討論会、聴視覚教育、時事問題研究会等
を含むこと

該當事項なし

公民館に於ける社会学級 (5月分)

公民館数 (55) 前回報告が開設された公民館
なし

公民館活動の主なものとその実施館数

法律政治 (10)

経済労働 (6)

公衆衛生 (18)

厚生 (3)

民間教育 (23)

時事問題 (5)

公民館にて行われた優秀なプログラムの一例

なし

題目 5月のPTA活動報告

宛名 田舎民事部教育課青年係 グレインズ殿

1. 本月中のPTAの特筆すべき発表(動き)

なし

2. 重要な会議

なし

3. 備考

なし

報告者 高知縣教育委員会

社会教育課長 西村正男

係 PTA係

芥島喜藏

Ehime-ken

11

昭和二十五年年度豫算編成の重点 案

一 學校の收容施設の整備

× 高等學校施設の整備

○ 定時制高等學校の校舎の整備

○ 全日制高等學校の既定計畫に基く校舎の建築

○ 全日制高等學校の運動場の整備

× 新制中學校々舎の建築

○ 新制中學校々舎は今後十五ヶ月以内に完成するよう努める

○ 建築未着手の町村に対しては極力組合を設置を勧める

二 學校の教育内容の充實

× 内容設備の充實

○ 教材教具の整備 保健衛生の整備

○ 圖書の充實

○ 盲聾學校の整備

Basic Principles for Forming Budget

2 教育職員の資質の向上

○ 職員組織の充實

○ 幼稚園職員の待遇の向上

○ 学校教育指導の方針並びに方法の確立

○ 教育研究所の拡充

3 就学の奨励

ニ 社会教育の振興その他

1 モデル公民館の設置の促進

2 憲法記念館の充實

3 社会教育指導陣営の強化

4 広報活動の強化

5 教職員の福利厚生施設の整備